

成長型マインドセットをもち続けよう

校長 長谷川 晋

1991年～2020年の平均気温を2.3℃上回るなど、統計開始以降、史上最高の暑さとなった夏休みでしたが、苦手分野の克服を図る学習会への自主的な参加や、北信越大会の男子2年100mで5位に入賞した陸上競技部・3年ぶりに出場した県コンクールで銀賞の吹奏楽部の活躍、生徒会長による広島平和記念式典への参列と折り鶴の献呈など、生徒一人一人が多様な経験を積んで、一段とたくましく成長することができたようです。2学期が始まり約3週間が経ちましたが、生徒会自治委員会や学年運営委員会が中心となって、学校生活の充実・改善・向上を図る取組が進められています。

2学期始業式で、生徒の皆さんに「マインドセット(物事の見方や考え方)」について紹介しました。

『マインドセット「やればできる!」の研究(草思社)』は、世界24言語、250万人が読んだ成功心理学の名著で、帯には「20年の調査によって科学的に実証された人生を変える最強メンタルのつくり方」と紹介があります。著者はスタンフォード大学心理学教授のキャロル・S・ドゥエック氏で、学問・芸術・スポーツ・仕事・人間関係などの成功と失敗は、「マインドセット」で決まると述べています。

マインドセット(物事の見方や考え方、心の在り方、心構え)

「マインドセット」は、私たち一人一人の日々の行動や意思決定に大きな影響を与えています。生まれながらの性質、生まれ育った環境、過去の経験、教育、時代背景などによって無意識のうちに育まれるものですが、意識的に、変えていくことができます。

そして、下の表のように、2種類のマインドセットがあり、どちらを信じるかによって、あなたの未来が大きく変わっていくと結論付けています。

固定型マインドセット 【Fixed(硬直) Mindset】	比較項目	成長型マインドセット 【Growth(しなやか) Mindset】
能力は、生まれつきのもので変化しない	考え方	能力は、努力を続けていけば成長する
失敗するかもしれない新しいことには、できれば挑戦したくない	挑戦	失敗を恐れないで、常に新しいことに挑戦したい
壁にぶつかったら、すぐにあきらめる	壁	壁にぶつかっても、乗り越えるまでやる
努力しても、どうせむだになる	努力	何かを得るためには、努力が欠かせない
自分への批判的な意見は、無視する	批判的な意見	自分への批判的な意見にも、真剣に向き合い、学びや気づきを得ようとする
他者の成長や成功を脅威に感じて、嫉妬する	他者の成長や成功	他者の成長や成功から、刺激を受ける

固定型マインドセット(「能力は生まれつき決まっており、努力しても変わらない」という考え方)をもつ人は、現状維持を好み、新しい挑戦や学習を避ける傾向があります。

成長型マインドセット(「能力は努力次第で成長させられる」という考え方)をもつ人は、物事を前向きに捉え、挑戦や努力を好み、粘り強く取り組む傾向があります。失敗を成長の機会と捉え、そこから学び続ける姿勢が特徴です。

城東中生の皆さん、あなたが今、変わるべき時なのかどうか、それを判断するのは、あなた自身です。変わるべきかもしれないし、そうでないかもしれません。でも、いずれ学習や人間関係で壁にぶつかる時がやってきます。成長型マインドセットをもち続け、壁を乗り越えるまで努力していきましょう。

結びに、2学期は1年で一番長い学期であり、学校生活の充実期です。2学期も「チーム城東」の一員として、保護者や地域の皆様からの変わらぬご支援をお願いいたします。

熱闘！県大会！北信越大会！！

新潟市民芸術文化会館を会場に、県吹奏楽コンクールが開催されました。各地区の代表に負けない、美しく響く城東サウンドを届けてきました！

また、福井県営陸上競技場を会場に北信越大会が開催されました。前日の大雨でコンディションが整わない中、堂々とした走りを見せてくれました。

吹奏楽部

令和7年8月5日（火）
B 編成の部 銀賞



陸上競技部

令和7年8月8日（金）
男子2年 100m 11" 46 5位



全国学力・学習状況調査の分析と対策について

4月に3年生対象で行われた全国学力・学習状況調査の結果が届きました。職員間でも分析を行い、今後の学習指導の対策を練り上げました。

教科に関する調査の結果		
国語	数学	理科
平均正答率は全国平均を下回り、特に高正答率の生徒の割合が全国を下回っています。 「思考・判断・表現」の観点で全国を下回っており、特に資料や機器を用いた表現の工夫、論理的な話の構成といった問題に課題があります。   	平均正答率は全国平均を下回り、特に高正答率の生徒の割合が全国を下回っています。 「思考・判断・表現」の観点で全国との差が大きく、記述式の問題で差が顕著です。特に一次関数の変化の割合に関する知識・技能や、式を用いて事柄が成り立つ理由を説明する記述式問題で、課題が見られます。	平均 IRT スコア※は全国を下回り、特に高正答率の生徒の割合が全国を下回っています。 塩素の元素記号を問う短答式問題や、仮説を立てて電気回路に関する知識・技能を活用して結果を予想する選択式問題で、課題が見られます。 ※IRT スコア：異なる問題から構成される試験・調査を同じ尺度で比較するための数値
質問調査の結果		
【学習意欲】 「教科の勉強が好き」と回答した生徒の割合は年々下降し、昨年度よりも低下しており、高い割合ではありません。 【学習状況】 「授業の内容はよく分かる」と感じる生徒が多い一方で、「勉強は好きではない」という生徒が一定数存在し、授業が必ずしも資質・能力の向上につながっていない可能性があります。 【家庭学習】 平日の家庭学習時間は、1時間以上、2時間以上ともに全国を下回っており、下降傾向にあります。家庭学習の質と量が課題です。 【ICTの利活用】 一人一台端末の導入が進み、授業での活用や毎日持ち帰っている生徒の割合が全国を上回っています。しかしながら、家庭学習での活用が十分ではない状況が見受けられ、授業におけるICT活用状況には偏りがあります。		
今後の学習指導の対策		
1 学力全般の向上 苦手な生徒への補足的な学習支援に加え、得意な生徒がさらに力を伸ばせるような発展的な学習課題を設定し、全ての層の学力向上を目指します。	2 記述力の強化 どの教科でも、授業において、根拠や理由を明確にした上で思考し、自分の意見を分かりやすく説明したり、他者と比較したり、グループで意見をまとめたりする活動を積極的に取り入れます。	3 学習意欲の向上 「分かる授業」に加え、学ぶ意義や楽しさを感じられる授業を推進し、生徒が主体的に学習活動や家庭学習に取り組めるようにします。
4 家庭学習の推進 家庭学習の質と量を向上させるため、発達段階に応じた学習内容・方法を検討し、家庭学習がその後の授業内容と連動するような工夫を講じます。家庭でもお声掛けください。	5 ICTの効果的な活用 一人一台端末の家庭学習での活用を促進するとともに、授業におけるICT活用の目的やアイデアを広げるための校内研修などを行い、実践的な活用方法を検討していきます。	6 各領域からのアプローチ 学校全体で課題を明確にし、教科の授業や学級活動、生徒会活動等を含めて多角的に取り組めます。また、地域のマンパワーを活用し、地域と学校が協働して「学ぶ場」を創出します。

前期学校評価アンケートの結果について

1 学期末にご協力いただきました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。職員研修や学校運営協議会の中で議論し、今後の方向性や改善の方策等について協議しました。

令和7年度 前期 生徒アンケート全校集計結果				
No.	質問項目	肯定的 選択率	前回 R6年7月	前回比
1	学習規律(チャイム着席・私語0・忘れ物0)を守っている。	88.8%	87.4%	1.5%
2	授業がよく分かる。	86.9%	87.3%	-0.4%
3	授業では、積極的に発言したり、仲間と関わったりして、意欲的に取り組んでいる。	77.0%	72.8%	4.2%
4	授業では、ICTを積極的に活用している。	90.0%	88.3%	1.7%
5	計画的に家庭学習に取り組んでおり、1日の平均家庭学習時間が1時間(60分)＋学年×10分を超えている。	44.9%	47.6%	-2.7%
6	「あ・じ・み」(あいさつ・じかん・みだしなみ)を守っている。	94.8%	95.1%	-0.3%
7	「あ・じ・み」(あいて・じぶん・みんな)を大切にしている。	96.7%	97.6%	-0.9%
8	学校が楽しい。	91.0%	92.0%	-1.0%
9	安心して学校生活を送っている。	94.1%	93.0%	1.1%
10	友だちとの関係はうまくいっている。	96.0%	95.6%	0.4%
11	自分には良いところがある。	82.4%	80.1%	2.4%
12	自分の良さを認めてくれたり、自分を高めてくれたりする仲間がいる。	96.9%	94.6%	2.3%
13	「人にも物にもやさしく思いやりの気持ち」をもって、周りの人の気持ちを考えた言葉がけや行動をしている。	95.0%	95.3%	-0.2%
14	「正しいことを貫き、してはならないことはしない」とする正義の心を大切にしている。	94.1%	94.0%	0.0%
15	どんな理由があっても、いじめや差別はよくないと思う。	97.1%	96.9%	0.2%
16	いじめられている人がいたら、助けてあげたいし、力になってあげたいと思う。	97.4%	96.9%	0.5%
17	将来の夢や目標をもっている。	73.4%	72.3%	1.1%
18	何事に対しても、自分なりの目標をもち、あきらめずに粘り強く挑戦している。	85.7%	85.0%	0.7%
19	進んで身体を動かし、基礎体力の向上に努めている。	80.8%	78.1%	2.7%
20	毎日、朝食をきちんと食べている。	92.9%	93.6%	-0.8%
21	夜更かしをせず、睡眠を7時間以上とるようにしている。	79.6%	75.8%	3.8%
22	メディアの使用時間を気にかけ、規則正しい生活を心がけている。	64.1%	63.1%	1.0%

令和7年度 第1回 保護者アンケート集計結果				
No.	質問項目	肯定的 選択率	前回 R6年7月	前回比
1	子どもは、授業の内容が理解できていると感じる。	58.8%	60.2%	-1.4%
2	子どもは、家庭学習を計画的に行っている。	38.5%	51.8%	-13.3%
3	子どもは、楽しく学校生活を送っていると感じる。	88.2%	92.1%	-3.9%
4	子どもは、「あ・じ・み」(あいさつ・じかん・みだしなみ)ができていていると感じる。	84.5%	83.6%	0.9%
5	子どもは、交通ルールや学校の決まり等を守っていると感じる。	92.6%	93.6%	-1.0%
6	子どもは、思いやりの心や正義の心を大切にしていると感じる。	92.9%	93.6%	-0.7%
7	子どもには、いじめや差別を許さない態度が育まれていると感じる。	95.3%	94.1%	1.2%
8	子どもは、規則正しい健康的な生活習慣が身に付いていると感じる。	70.6%	70.6%	0.0%
9	子どもは、進んで身体を動かし、基礎体力の向上に努めていると感じる。	66.9%	66.9%	0.0%
10	城東中学校は、信頼できる学校である。	88.2%	88.0%	0.2%
11	学校から情報は保護者によく伝えられている。	82.4%	79.2%	3.2%
12	TV、ゲーム、タブレット、PCなど、メディアを使用するルールや時間帯を決めている。	37.2%	37.5%	-0.3%
13	家族で将来のことについて話し合いをすることがある。	58.1%	62.6%	-4.5%
14	1学期中に学校行事やPTA活動で、学校に足を運んだ回数をお知らせください。	1.63回	1.45回	

令和7年9月11日(木) 第2回学校運営協議会

グループ協議では「地域の力を使って学校課題の解決に取り組みたい」と、温かいお言葉をいただき、「知」「徳」「体」の3観点から学校課題に対する改善策を考えました。特に「地域人材を生かした学習の場」についてたくさんのご意見をいただき、現在、実行に向けて着々と準備を進めています。



自由記述でも、貴重なご意見をたくさんいただきました。一つ一つのご意見を真摯に受け止め、全職員で共有し、今後の教育活動に活かしていきます。

良い点、感動した点 ※一部抜粋	
1 先生方の熱意と生徒に対する温かい配慮	親身な対応 不登校の生徒にも個別で対応し、気にかけてくださっていることに感謝しています。 元氣な挨拶 来校者や保護者に対して、先生方が明るく挨拶をしてくれることが、学校全体の良い雰囲気をつくっています。 熱心な指導 様々な教育活動において、先生方が真剣に生徒と向き合っている姿が素晴らしいです。特に、学級・学年だよりなどから先生方の熱意が伝わってきます。
2 生徒主体の教育活動	自主性の尊重 体育祭やその他の学校行事を生徒が主体となって運営している点が素晴らしいです。生徒が自ら考え、行動することで、責任感や団結力が育まれています。 行事への主体的な参加 体育祭の軍Tシャツのデザインを生徒が行ったり、全員が選手として競技に出場したりするなど、生徒一人ひとりが活躍できる機会があります。
3 学校から家庭への丁寧な情報発信	こまめな連絡 子どもの些細な変化や休んだ際の連絡をこまめにもらえることが、保護者にとって安心感につながっています。 学級・学年だより 毎週発行される学級・学年だよりが、家庭での会話のきっかけとなり、学校での様子を知る上で非常に役立っています。 学校だより 学校だよりの内容が毎回楽しみで、勉強になります。
4 生徒や先生、保護者が一体となって楽しむ、活気あふれる学校行事	体育祭 多くの皆さんが「感動した」「素晴らしい」と記述しています。生徒が生き生きと活動し、先生方も楽しんでいる様子が、観戦している保護者にも良い影響を与えています。 合唱コンクール 毎年、上越文化会館という本格的な場所で実施され、クラスが一つになって取り組む姿が感動的です。
5 生徒の成長を促す教育カリキュラムと環境	朝読書 読書習慣を身につけさせるために、今年度から実施している朝読書の時間がよいです。 体操着登校 夏場の体操着登校が、生徒の負担軽減や、危機管理対策として効果的です。 学習のサポート テスト予定表の配付など、学習計画を立てやすいサポート体制が整っています。

改善してほしい点・要望 ※一部抜粋	
1 学習について	「まとめテスト」や「パフォーマンステスト」といったテスト形式への事前指導が不十分で、保護者や生徒が十分な対策を立てられない時があります。授業の質の一層の向上、自学自習ができるような放課後学習室の設置を進めてほしいです。
2 先生の指導・生徒との関わり方	教師が感情的になって指導を行なうことがあるようです。生徒指導事案について、生徒の聞き取りが不十分に感じる時があります。
3 校則と学校のルール	時代に合わないと感じられる校則やルールについて、見直しをしてほしいです。生徒や保護者の意見を取り入れて、よりオープンにお願いします。
4 安全・生活環境と設備	登下校時に交通ルールを守らない生徒がいます。荷物を学校に置いておけるようにしてほしいです。
5 学校と家庭の連携・情報共有	重要なメールとそうでないメールの区別をつけてほしいです。フリー参観の周知が不足しています。保護者面談の案内を早めに出してほしいです。

10月の主な予定

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 2日(木) 地区新人各種大会 | 16日(木) 部落問題学習支援訪問 |
| 6日(月) 学力テスト②・冬季校時開始 | 28日(火) 放課後合唱練習開始 |
| 9日(木) 地区駅伝大会 | |
| 10日(金) 避難訓練② | |

